一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

# 全海連

令和4年7月 第201号 www.zenyoren.com/

**●全溶連** みんなで創ろう 新たな未来

●新時代 つないでいこう 保安意識



### 北海道庁赤レンガ庁舎 (旧本庁舎)

写真提供:北海道 総務部総務課庁舎管理係

会長挨拶2
第79回通常総会4
来賓挨拶8
単位組合紹介(北海道溶材商業会)9
賛助会員の広場10
お知らせ11

### 2022年 第79回全溶連総会(東京)



2022年6月9日(木)メルパルク東京で一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会の第79回通常総会が開催されました。

総会開催にあたり鈴木副会長より「まずご来賓の皆様には大変お忙しい中、ご臨席賜り誠にありがとうございます。謹んでお礼申し上げます。また日頃からご指導いただいております高圧ガス保安協会におかれま



鈴木副会長

しても、厚くお礼申し上げます。そして本日ご出席の全溶連の会員皆様方のご支援を賜り感謝申し上げます。総会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年一昨年の総会開催を中止して、書面での決議として、やってまいりましたが、今回は久しぶりに対面での総会を開催することができました。また各委員会活動につきましても今まで通り、会場に集まっての活動が難しいということで、書面およびオンラインあるいはオンラインとのハイブリッド形式の活動を中心として行ってまいりましたが、今後において、より良い形で皆さんが参加できる形にしていきたいと思います。

さて来年は延期になりました九州大会を博多で

開催することになり準備を進めているところです。是非とも多数のご参加をお待ち申し上げております。

また全溶連は2010年6月に任意団体から一般社団法人に移行して、今年12年目を迎えました。今後とも、一般社団法人の名に恥じないように関係団体と連携をとりながら、より一層、保安活動に注力して、全溶連がより良い業界団体と言われるように努めてまいります。

それではここに、第79回、一般社団法人全国高 圧ガス溶材組合連合会の総会を開催いたします。」 と挨拶がありました。

引き続き深尾会長より以下の挨拶がありました。 「本年も引き続くコロナ禍に配慮して、参加者

は全溶連会員のみとさせていただいておりますが、3年ぶりに、ようやく対面形式での総会を開催できましたことに、大いに喜びを感じている次第です。

での総会を開催できまし ことに、大いに喜びを感 ている次第です。 私ども、一般社団法人全

国高圧ガス溶材組合連合会 深尾 会長

は、昭和7年にその前身である全国溶材商連合会が設立されて以降、今回で79回目の総会の開催

を数えるに至っております。これもひとえに、官 界の皆様をはじめ、関係諸団体の皆様、賛助会員 の皆様からのご支援、ご協力の賜物であり、あら ためて、心より感謝申し上げます。

なお、昨年、当初予定していた九州大会を2年後に延期し、総会は書面による決議とさせていただきましたので、来年6月の総会は、九州大会ということになります。皆様どうぞ宜しくお願いします。

私どもを取り巻く環境は、発生頻度の高まる大規模な自然災害、新型コロナウイルス感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等によって社会的・経済的不安がひき起こされていることに加えて、高圧ガス消費先においては、その消費形態の多様化が進むといった、これまでに経験したことの無い様相を呈しています。

こうした環境にあって、全溶連では、例えば、 自然災害においては、河川の増水に伴う高圧ガス 容器の流出等の社会的不安を解消すべく、関係団 体と協力して対策の徹底を図っております。ま た、高圧ガスは防災対策上も必要不可欠な資源で あることから、災害時における安定供給と保安確 保に支障をきたすことのないよう、関係機関との 連携強化にも注力しております。

しかしながら、残念なことに、高圧ガス事業に関わる全ての事業者が全溶連に加入しているというわけではありません。そのため、消費者に対する保安の周知徹底を図れていない事業者も見受けられます。全溶連としては、こうした事業者に対して保安確保の啓蒙を図るべく、全国31単位組合を挙げて、新規加入の勧誘活動に取り組んでいます。

実際の事故状況ですが、2021年の高圧ガスの 消費先における事故件数は57件と、前年を2件上 回っております。ガスの種類では「アセチレンガス」17件、「酸素」9件、「LPガス」7件、の順で 多く、ガス溶接・溶断作業での事故が多いものと 推察されます。

事故の具体的な原因については、「ヒューマンファクター」19件、「設備の維持管理不良」17件、と、誤操作、設備の日常点検不良、によるものが事故原因の半数以上を占めています。作業員の保安教育や、基本的な設備管理などが行き届いていれば、多くの事故が防止できていたかも知れません。

全溶連では、事故防止のための自主保安体制の 強化にあたり、消費者保安講習会と、消費者向け の各種保安文書を充実していくことが極めて重要 であると考えており、事業者に対する保安確保へ の啓発活動の両輪として精力的に取り組んでおり ます。

消費者向けの各種保安文書につきましては、会員及び会員外の方にも多数ご利用いただいております。特に、「溶接・溶断周知文書」と「LPガス周知文書」は、毎年改定を行っており、全国で26万部のご利用をいただくなど、全溶連の財政にも寄与しております。

今後は、保安委員会による講習会支援について の提案として、資料の開発、事故事例の動画提供 など、さらなる活性化を検討して参ります。

また、毎年、関連推進団体と連携して使用済容器の早期返却を促進するために行っている「全国一斉特別回収運動」につきましては、2021年度は10月に1ヵ月間にわたって実施しております。放置容器683本、不明容器608本、の計1,291本を回収できました。

同時に、高圧ガス保安協会によるご支援のもと、3年間で1,000万円の特別枠補助金により実施中の放置容器処理事業では、2021年度の不明容器5本、毒性ガス4本、アセチレン容器327本の廃棄処理を行い、事故防止を推進しております。

併せて、鳥インフルエンザへの対応に関して、 日本産業・医療ガス協会と協力して各単位組合と 地域行政間の協定書の締結推進を実施しておりま す。全溶連では全国の単位組合に鳥インフルエン ザ対応についてアンケート調査を行い、全国の取 り組み状況や問題点の把握に努めております。

さて、近年では毎年のように、統合や廃業等による会員数の減少が続いております。全溶連の目的である「自主保安の徹底と高圧ガス販売業界発展への貢献」を遂行するためには組織の強化拡充、財政基盤強化が必須です。引き続き会員増強に努めるとともに、活動内容の充実を図って参りますので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、第79回総会を東京で開催するにあたり、ご来賓並びにご参加の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。」



# 第79回 通常総会



議決権数報告 議事に先立ち、事務局より議決権について正会員定数31名(出席16名、委任状15名) 代議員定数150名(出席者数58名、委任状92名)で、定款20条に規定する過半数の出席があり、本総会は」成立する旨の報告の後、深尾会長が議長となりました。

第 1 号 議 案

### 2021年度 事業報告承認の件

2021年度事業報告承認の件について、事務局より第1項全溶連の環境、第2項事業活動状況、第3項一般庶務事項について報告し、第4項の委員会活動状況については、組織委員会(辻副委員長)、経済委員会(佐藤委員長)、保安委員会(鈴木副委員長)、厚生委員会(土田委員長)、広報委員会(藤本委員長)より報告されました。

### 委員会報告

### 組織委員会(辻副委員長より報告)

従来通り組織の整備・拡充と会員増強をいかに 図っていくかを基本に活動しています。

しかしながら昨年度に引き続き「会員企業の統合・合併や廃業」といった理由で2021年度も会員数が減少し続けています。

2021年4月の会員数は1,365社でありましたが、2022年4月は1,359社と、1年間で6社の減少となり、減少傾向に歯止めがかかっておりません。

全溶連の正会員は全国31の単位組合が母体となっていることから、全国の単位組合の会員の減少は全溶連会員の減少と連動し、組合財政上影響を受けることとなります。

正会員が減少している中、組織委員会としては 賛助会員の加入増強に注力していますが、現状維 持の39社でした。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、組織委員会は書面による対応で加入促進に向けた活動ができませんでした。

今後は各単位組合に参加されています賛助会員 の中からピックアップして、加入の働きかけをし ていくことも考えていますので、お力添え頂きま すようよろしくお願い致します。

### 経済委員会(佐藤委員長より報告)

保安契約締結の重要性を再認識して頂き、より 多くの消費先に対して契約を促進する取組を強化 し、合わせて容器指針の効果的な活用と共に販売 店社員に対する教育支援資料のさらなる充実を図 りながら、会員各社の経済面でのサポートができ るよう活動をしています。

長年取り組んで参りました商慣行改善活動については、地域による若干の差はあるものの、保安契約の取組強化と容器による供給について、容器の所有形態別により個別に契約確認事項を定めて、保安に関する契約書の締結促進活動に取り組みました。

次に販売店の社員に対し、高圧ガスの取り扱いも含め、レベルアップを図ることも経済委員会の目的の一つとし、保安委員会との連携による経済・保安ワーキンググループにて進めています。

販売店向け保安文書の「一般高圧ガス販売時マニュアル」は、販売から9年経過していることから、内容を見直し、2022年度には改訂版を刊行する予定です。

コロナ禍の中で、対面型の講習会が開催出来ない環境ではありますが、各地域で開催する講習会における講師役の育成支援にも取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染による影響で、地域経済は大きく冷え込んでおり、我々の業界にもその影響が拡大しています。これまでの様に消費先からの生の情報収集が制約され、情報を共有する機会が激減しました。そのため、早急にWEBなどの通信手段を取り入れた会議開催手法を取り入れながら、保安委員会との連携を図りながら進めて参ります。

全国各地で発生している鳥インフルエンザや年間を通じて発生する可能性が高い、豚熱については、炭酸ガス供給側と行政側との協力により取り

組んでいるところですが、まだまだ緊急時の連絡・供給体制が未整備な地域も見受けられるので、今後も課題解決に取り組み、対応を見直す必要があると感じています。

### 保安委員会(鈴木副委員長より報告)

前年に引続き自主保安活動を中心とした活動の 強化・推進、放置容器の発生防止と屑か処理促進、 保安文書類の見直しと、新規保安文書類の発行を 中心に活動しています。

毎年、全国各地で開催している各種保安講習会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、地域によっては開催を中止せざるを得ない状況でありました。高圧ガス販売業者として、自主保安活動の周知推進の在り方、講習会支援の提案等、対面以外の方法についても検討を推進してまいります。

次に高圧ガス保安協会より3年間で1千万円の 補助金は第6期2年度がスタートしました。2021 年度の処理内容は、内容物不明容器5本、毒性ガス容器4本、アセチレン容器327本を廃棄処理しました。

自主保安活動としては、保安文書類の定期的な内容の見直しと、新規の保安文書の刊行に取り組んでおり、今年度は、高圧ガス消費者向けの「バルブ付き継目なし高圧ガス容器」の見直しの作業に取り掛かっています。関係団体の協力を得ながら2022年度には改訂版の刊行を予定しています。

2021年度の周知文書は、4月から3月までに溶断溶接用、LPガス用と26万部の頒布がありました。今年は、コロナ禍でもあり、販売価格を見直し会員様に対して還元させていただきました。

2021年度の消費先における高圧ガス事故は、前年度より微増し、消費先での誤操作、誤判断によるヒューマンファクターが大半を占めています。全溶連としては、高圧ガスの危険性を正しく認識して、高圧ガス容器回収、早期返却、保安契約締結に関する活動に取り組んでいます。

### 厚生委員会(土田委員長より報告)

厚生委員会は福祉共済制度を担当している委員会ですので、委員会の活動としては、従来通り福祉共済制度である団体定期保険、傷害補償、医療補償、長期収入補償(GLTD)の拡充を中心とした活動をしています。

団体定期保険はキャンペーン第8弾として2019年10月1日から「ポイントゲットキャンペーンPART3」を実施していましたが、コロナの影響で大会が延期となったことからキャンペーンを中止とさせていただきました。

新たに、2021年10月から2023年3月の期間でポイント加点基準を見直し、キャンペーンを再度立ちあげました。上位5組合を来年の全溶連九州大会で表彰するものです。

2022年1月の更新募集の結果は、加入人員は 140名減の3,501名、加入口数は254口減の8,166 口となりました。

一方、団体定期保険のオプションとしての傷害補償につきましては2022年1月の募集結果では、加入人員で17名減、口数で9口の増の結果となりました。医療補償につきましては、6名増の147名となりました。

長期収入補償制度(GLTD)については、加入 事業所はわずか2社となっており、今年は新規加 入を目標として取り組んでまいります。

ご承知のように、福祉共済制度の制度運営費は 各組合さんの貴重な手数料収入となっています。 1月の定期募集以外でも随時加入頂けますので、 今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

#### 広報委員会(藤本委員長より報告)

前年同様に4月、7月、10月、1月と年4回発 行している会報誌「全溶連」の編集発行を中心に 活動しています。

恒例となっています1月号の新春特集記事の新春座談会にいては、山口組合を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とさせていただきました。来年度は、長野組合にお願いすることで決定いたしました。

今年度も第12回の写真コンテストを開催しました。応募総数24名67作品の中から広報委員会で厳正な審査の結果、埼玉組合の斎藤様の作品「鬼怒楯大吊橋からの絶景」が最優秀作品として選ばれ、1月号の表紙に掲載させて頂きました。

また、1月号に新企画として高圧ガスに係る川柳募集を掲載いたしました。

これらの取り組みは読者と会報誌を直接結びつけるもので今後も継続して開催していく予定です。

また賛助会員様につきましては、少しでもお役 に立てるよう会報誌の「賛助会員の広場」に会社 広告を無償でご紹介しており、皆様に見て頂き、 読んで頂く会報誌を目指しています。

利用にあたってお気づきの点がございました ら、ご指摘・ご要望に出来る限り沿う形で改定し てまいりたいと思っています。

第2号 議 案

### 2021年度 決算報告承認の件

柳川財務委員長より2021年度収支決算について報告されました。

収入の部

単位=円

支出の部

単位=円

科目	決 算
1. 基本収入	
会費収入	26,000,000
2. 事業収入	
保安事業関係	6,210,788
共済事業関係	6,088,444
(事業収入合計)	12,299,232
3. 全溶連総会収入	0
4. 事業外収入	1,798,497
収入合計	40,097,729
5. 前年度繰越金	15,221,605
総合計	55,319,334

科目	決 算
1. 事業費	
保安事業関係	4,436,797
2. 販売費及び一般管理費	
人件費	18,335,599
会議費	370,016
その他事業費	3,331,138
諸経費	9,665,308
(販売費及び一般管理費合計)	31,702,061
3. 営業外費用	2,236,490
4. 支出合計	38,375,348
5. 次年度繰越金	16,943,986
総合計	55,319,334

2021年度利益は次年度繰越金16,943,986円から前年度繰越金15,221,605円を差引いた額1,722,381円となりました。

財産目録

単位:円

流動資産(現金・預金等)	75,731,484
固定資産(敷金)	5,040,500
資産 合計	80,771,984

流動負債(未払費用等)	4,219,679
固定負債(大会準備引当金等)	14,608,319
負債 合計	18,827,998

差引正味財産	61,943,986
負債並びに正味財産合計	80,771,984

次に利益処分案として本年度利益1,722,381円を前年度繰越金15,221,605円に加えた16,943,986円を次年度繰越金とする利益処分案が提案され承認されました。

引続き監事を代表して田畑監事より監査報告がなされ、第2号議案は承認されました。

### 第3号 議 案

### 2022年度事業計画 (案) 承認の件

事務局より2022年度事業計画(案)として12 項目が提案され、満場一致で承認されました。

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と 徹底

- 3.主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並び に伝達指導
- 4. 自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進
- 5. 関連業界及び団体との共同事業の推進
- 6.高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
- 7. 高圧ガス不明容器処理の対策・推進
- 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
- 9. 福祉共済制度・団体定期保険(キャンペーン)

単位=円

及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに 賠償責任保険制度の普及

- 10. 会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
- 11. 第79回全溶連総会(東京)の開催および第80 回全溶連大会(九州)の準備

### 12. 「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充

なお、第80回全溶連大会は、2023年6月8日 (木) にホテル日航福岡で開催することが決定し ております。

第4号

### 2022年度 収支予算案承認の件

柳川財務委員長より2022年度収支予算案が提 案されました。

収入の部		単位=円
科	決	算

科目	決 算	
1. 基本収入		
会費収入	25,880,000	
2. 事業収入		
保安事業関係	8,430,000	
共済事業関係	6,902,000	
(事業収入合計)	15,332,000	
3. 全溶連総会収入	0	
4. 事業外収入	1,750,000	
収入合計	42,962,000	
5. 前年度繰越金	16,943,986	
総合計	59,905,986	

XIIIVIII	+177 - 1 7
科目	決 算
1. 事業費	
保安事業関係	5,155,000
2. 販売費及び一般管理費	
人件費	17,750,000
会議費	2,500,000
その他事業費	6,150,000
諸経費	9,742,000
(販売費及び一般管理費合計)	36,142,000
3. 営業外費用	1,370,000
4. 支出合計	42,667,000
5. 次年度繰越金	17,238,986
総合計	59 905 986

2022年度の利益は次年度繰越金17,238,986円から前年度繰越金16,943,986円を差引いた額 295,000円となります。

支出の部

第4号議案は拍手で承認されました。

最後に河西副会長より

「第79回通常総会が皆 様のご協力により、全ての 議案が無事終了しました 事、厚くお礼申し上げま す。新型コロナ感染症はま だまだ感染は続いておりま すが、本日このように総会 が開催されるなど、少しず



河西副会長

つ日常が戻ってきております。しかしこの感染症 の影響、ウクライナ情勢、アメリカの金利政策の 変更等により、我々を取り巻く経済環境はエネル ギー、食糧、資材価格の上昇、物流の混乱、資材 の長納期化、円安の進行等非常に厳しい不透明な 状況下にあります。しかしながら、私共にとりま しては、どんな経済状況にありましても、高圧ガ スの保安の確保は最優先の課題であります。高圧

ガス事故の発生件数も高止まりの傾向にあり、コ ロナ感染症の拡大防止のため、人と人との接触が 制限される中で、保安講習会の開催や、私共と消 費事業者との接触の機会も以前より減少しており ます。このような中、保安啓蒙活動や現場の保安 管理をどのように確保していくのか、また近年の 広域化、激甚化する自然災害により生じた、容器 の流出対策等、新たな課題にどう対応していくの か、全溶連としてもITの活用を含め、新たな創意 工夫が求められており、会員皆様が知恵を出し合 っていく事が重要だと思います。全溶連は運営コ ストを適正化し、皆様のニーズに合った活動を今 後も継続してまいりますので、更なるご協力、ご 支援をお願い致します。それではこれで総会を閉 会させて頂きます、本日は有難うございました。」

と挨拶がありました。

# ご来賓より祝辞

特別民間法人 高圧ガス保安協会 会長 近藤 賢二(代読 越野 一也)

本日、全国高圧ガス溶材組合連合会 第79回社員総会が、滞りなく執り行われましたことを心からお慶び申し上げます。本来であれば、会長の近藤がご挨拶を申し上げるところですが、やむを得ぬ事情のため



越野理事

出席が叶いませんでしたので、代わって、私がご 挨拶申し上げます。

貴連合会は、昭和7年に全国溶材商連合会として設立されて以来、90年の長きに亘り一般高圧ガスの販売業界における唯一の全国団体として、同業界の健全な発展に大きく貢献されてきました。保安に特化した分野では、高圧ガスの販売業者及び消費事業所に対する保安啓発や保安教育等の活動に加え、他団体との連携による放置容器の回収運動を30年以上に亘って取り組むなど、高圧ガス保安の維持・向上と自主保安の推進にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、近年、IoT等のテクノロジーの進展、保 安人材の不足、気候変動問題など、産業保安を取 り巻く環境には様々な変化が生じております。こ れらの変化を踏まえた保安規制の見直しを行うた め、今国会において、26年ぶりとなる高圧ガス保 安法の大幅な改正について審議が行われておりま す。当協会は、この規制の見直しにあたり、「安 全を守る」という一点から、国に対しても、しっ かりと意見を述べ、結果として国会で審議中の法 律案については、安全を担保しうるものとなって いると考えています。しかしながら「神は細部に 宿る」との言葉のとおり、法律の執行面で安全を 確保するためには、今後整備する政省令、関係規 程などの制度設計が大変重要となります。当協会 としましても、これまでと同様に、国と連携し、 国民の安全・安心のために万全を期して保安確保 に取り組んでまいります。どうぞ、引き続き皆様 のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたしま す。

ここで経済に目を転じますと、我が国では新型

コロナによる国民生活への影響が長期化し、未だ 収束の目処はたっておりません。また、2月のロシ アのウクライナ侵攻以降、世界の政治、経済の情 勢は混迷を極めております。このような中、IMF (国際通貨基金) は今年の日本の経済成長率見通 しを、これまでのプラス3.3%からプラス2.4%に 引き下げ、日本経済の回復ペースが鈍化する可能 性を指摘しました。日本経済がコロナ前の水準に いつ戻るのか、また、ウクライナ情勢がいつ落ち 着きを取り戻すのかは未だ不透明な状況にありま すが、国民の安全・安心に直結する保安に関して は、政治情勢、景気動向に左右されることなく確 実に確保すべきものであります。加えて、近年頻 発する自然災害の激甚化を反映し、国民の安全・ 安心に対する関心は高まっていることから、これ までの常識にとらわれることなく、防災体制の整 備や防災訓練の実施など、保安確保に向けた取り 組みをより一層強化していくことが重要であると 考えております。

また、2050年カーボンニュートラルの達成につ いても、未来社会を見据えて我々が取り組むべき 重要な課題であると思います。特に水素につきま しては、発電用又は運輸用等の分野で必要不可欠 なエネルギー源であり、国際的な成長産業となり 得る可能性を有していることもあって、国内だけ でなく海外の主要国においても注目を集めている ところです。我が国では2017年に世界で初めて 水素基本戦略を策定し、今日まで水素社会の実現 に向けた技術開発に取り組んでまいりました。世 界に先駆けて液化水素運搬船を建造するなど、日 本の水素技術は世界をリードできる力を有してい ます。今後においてもこの分野を我が国がリード し発展することができるように、当協会は保安面 にとどまらず水素の利活用への対応も含め、水素 分野への積極的な貢献を果たしていきたいと考え ております。

結びにあたり、貴連合会の今後益々のご発展と ご盛栄を祈念するとともに、皆様とともに高圧ガ スの保安についてしっかりと前進していくことを お約束して、私のご挨拶とさせていただきます。

### 単位組合紹介

### 北海道溶材商業会

所 在 地 〒060-0003

札幌市中央区北3条西3丁目1番地大同生命札幌ビル3F (エア・ウォーター北海道株式会社内)

TEL: 011-212-8218 FAX: 011-219-2352

長 伊並 敏明 会

設 立 昭和37年10月

会員 正会員12社・賛助会員19社

正会員は北海道内において溶接機械、溶接棒、各種高圧ガス、その他付属諸材料の販売を営む企業とする。 賛助会員は正会員の取扱品の製造業者並びに問屋業で本会の趣旨に賛同する企業とする。

役 員 会長 伊並 敏明(伊並産業株式会社 代表取締役)

理事 中條 隆 (エア・ウォーター北海道株式会社 産業戦略部次長)

理事 阿部 哲也(和商株式会社 代表取締役社長)

監事 西川 敏行(西川産業株式会社 代表取締役)

[目的] 業界の健全なる発展に寄与し、併せて 会員の親睦を図ることを目的とする。会員並び に需要家企業の発展と経済的地位の向上を図る ため、講習会・講演会・見学会等を開催する。 また、開催する他の団体と協調を保ち、業界の 発展向上を図る。

[主な活動] 例年は保安活動としましてJIMGA 北海道地域本部との共催により11月に保安セ ミナーを開催しておりましたが、コロナの影響 により2年続けて中止を余儀なくされ、高圧ガ スの保安に関する活動を満足に行えていないと いうのが現状です。当会も同様にコロナ渦以降 総会、秋季例会、役員会等主要な活動を実施で きておりません。2022年度は北海道溶材商業 会60周年となる記念すべき年ですが、記念例 会についても現状開催は難しいと言わざるを得 ません。

こうした状況下、当会と致しましては保安文 書による周知活動を従来以上に強化(調整器、 逆火防止器、ホース、吹管等の点検)するとと もに、JIMGAとも連携しながらWEBによる 保安セミナー、保安講習会の開催により高圧ガ ス関連事故の撲滅と会員各社の安全意識を高め るための活動に注力して参りたいと考えており ます。また、例年通り高圧ガス容器一斉回収運 動の一環として、ポスター・チラシによる啓蒙



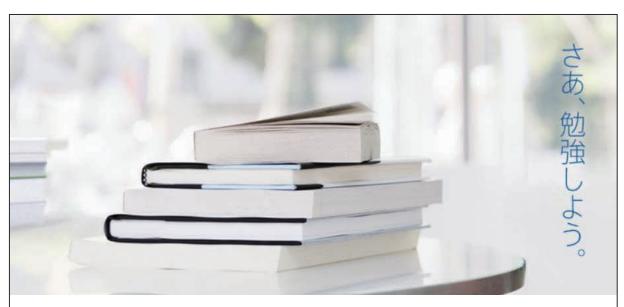
伊並敏明会長

を行い、放置容器の撲滅に向けて引き続き取り 組んで参ります。

北海道内では2030年度の開通が予定される 「北海道新幹線の札幌延伸工事」及び周辺施設 の建設をはじめ、同延伸を見据えた「倶知安余 市道路整備」、東京五輪マラソンの札幌開催に より工期が2年延期された「道庁赤レンガ庁舎 改修工事」等が進行中。民間工事では、最大案 件の「北広島ボールパーク」が2023年の開業 を控え、JRの新駅や周辺道路も含めた大規模 な整備事業が行われています。その他巣ごもり 需要の高まりを背景に物流倉庫の建設も各地で 進んでおり、コロナ渦により中止・延期を余儀 なくされてきたインバウンド需要向けリゾート 施設・ホテル案件も動き始めるなど、Hグレー ドの鉄骨ファブを中心に活況を呈し、2023~ 2027年にかけて道央圏を中心に再開発案件が ピークを迎えると予想されています。当会とし ても需要家様を含め保安活動を徹底し、安全意 識の啓蒙、事故の撲滅に努めて参ります。

来年こそは一年遅れの「北海道溶材商業会 60周年記念例会 | を無事故の喜びと達成感の 中で開催できることを祈念するとともに、業界 の益々の発展並びに地域貢献による会員各社の 社会的地位の向上を目指して今後も活動を続け て参ります。

# 賛助会員の広場



- ●高圧ガス資格の受験図書を始めとする高圧ガス関連図書の出版・販売(KHK出版図書取扱店)
- ●損害保険代理店業務●高圧ガス保安に関するコンサルティング業務●広告代理店業務

セーフティ・マネージメント・サービス株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 11F TEL 03-3436-0233 FAX 03-3459-1710

URL http://www.stms.co.jp/





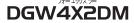
# 自動切替機能付

[業界初] [

### Super Welder

ディーゼルエンジン発電機兼用溶接機

溶接棒Φ4mm×2人同時溶接









バンドソー RB180FV-HA



オイルシリンダー切込みスピード調整式の ハイグレードタイプ!

**shindaiwa**®

もっと快適、もっと便利。

エコ溶接

エコ発電

▼動画リンク

▶動画リンク先

お問い合わせ先

超スリム幅 560 ㎜

やまびこジャパン株式会社 営業本部 TEL.0428-32-6181

仕事の幅が広がる

1台5役の 炭酸ガス溶接機

[業界初]。

### Multi Mighty

マルチマイティ炭酸ガス溶接機



(ア/オイルガード付)

①炭酸ガス溶接

②手棒溶接

③ガウジング ④三相交流電源







## 全溶連・福祉共済制度の ご案内

全溶連では4種類の福祉共済制度があります。 毎年1月1日始期の定期更新及び 新規加入の申し込みが10月からはじまります。 (GLTDのみ始期は4月1日)

团体定期保険(事業所加入型)

加入しやすい掛け金で万一に備える保障

医療補償(団体総合生活補償保険)

病気やケガに備えた充実補償

**傷害補償**〈団体総合生活補償保険〉

経営者・従業員のみなさまの業務上のケガを補償 業務中以外も補償する24時間タイプもあります。

長期収入サポート制度(GLTD制度)

〈団体長期障害所得補償保険〉

保険料は損金加入が可能 優秀な人材確保につながります

訴訟抑制効果が期待できます。

この4コマは作者が、第一回全溶連川柳の中から保安標語として、漫画にしやすそうなものから選ばせてもらった作品より一首を題材に作りました。

### ぼくはボン兵衛(人 原作:封鴉(ふうか) 作画:ひくされ 第三十八話「漏れは厳禁」の巻









### スマホでも読める新しい情報源



毎週火曜日配信(週刊) カラー電子版

# 週刊)

### 購読料

6カ月:10,000円 1年:20,000円(税別)

産報出版は、ガス全体を網羅した新たなメディアとして、週刊『電子版ガスメディア』を創刊いたしました。産業用、医療用から、都市ガス、LPガスなどの一般情報まで、ガスに関するあらゆる情報を幅広く掲載し、国内外の最新動向をきめ細かく発信します。

産報出版株式会社

●東京本社:TEL:03-3258-6411 FAX:03-3258-6430

●関西支社:TEL:06-6633-0720 FAX:06-6633-0840



#### 一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会 会員企業のみなさまへ

# 長期収入サポート制度 (全溶連GLTD制度)のご案内

(団体長期障害所得補償保険)

病気やケガで働けなくなった場合に長期で収入を補償する制度です。 連合会としてまとめて加入することで、割安な保険料での準備が可能です。 御社の福利厚生の拡充のため、制度導入をご検討ください。



医療保険には入っているけど… 治療が長引いて、なかなか復帰 できなかったら、蓄えている分だ けで足りるかな?



・・・・そうね。 長い間お給料がでないし、



なるほど。 では、そういった従業員 の不安に応えられる制 度を取り入れたいが・・

団体割引



そんなときに!!!

### 全溶連GLTD制度

#### **POINT**

- ●免責期間と補償期間の組み合わせで8つのタイプから 選択可能。
- ●健康状態告知は全員加入用一括告知書を採用(既往症があっても通常勤務されていれば加入可能)。

福利厚生の更なる充実や、 自助努力への第一歩として、 ぜひ企業さまでの導入をご検討ください



### 勤務先に「GLTD制度」が あって本当に良かった!

長いリハビリ中も、 収入の心配もなく 元気になって良かったわ





よし! 当社も 導入しよう!

#### | GLTDについてのお問合わせはこちらまで

#### 取扱代理店

株式会社 星和ビジネスリンク

TEL 0120-288-270

### 引受保険会社

【幹事】あいおい二ッセイ同和損害保険株式会社 広域法人開発部 営業課 TEL 03-6734-9608

【非幹事】日本生命保険相互会社

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「長期収入サポート制度(全溶連GLTD制度)のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明]をあわせてご覧ぐさい。また、詳しくはご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。健康状態告知書質問事項の回答内容や加入申込票記載事項(年令・他保険加入状況・保険金請求歴等)等により、ご契約のお引受けをお断りしたり、引受条件を制限させていただくことがありますので、あらかじめむ了承ください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を加入者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2021年12月承認) B21-103399

— 発 行 所 —

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会 東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル)

Tel.03-5296-0430 Fax.03-5296-0435

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com





全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会(E3PA)の認証を受け、グリーンプリンティング認定で用場で作成しました。

